

23前期_英語系1年_社会人基礎力&プレゼン表現 I (b)_斉藤隆史_実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	経済産業省が提唱する「社会人基礎力」。社員教育や研修制度等にも導入されている。社会人基礎力の内容を理解し、社会人として必要な基本スキルを自主的に付けることを目的とする。また、この力を身に付けることは就職活動にも結び付くことを理解する。	プリント教材等	《実務経験のある教員による授業科目》旅行業界での勤務経験のある教員が担当。各種演習を通じて社会人基礎力(コミュニケーション、チームワーク、アイデア発想、情報の集約・整理、データ分析、プレゼンテーションの仕方等)を身に付ける。本講座では、アクティブラーニングを通じ、学生自身が自ら考え、主体的に活動することが要求される。	【専門知識スキル】:基本的なプレゼンテーションができる。チームワークの必要性を理解することができる。 【社会人基礎力】:全項目に渡って、社会で即戦力としての評価につながるような学習を実習・実践形式で行う。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料保管のためのA4サイズのクリアファイル(20ポケット)を持参すること。【評価の観点】:課題を課す場合、提出期限を最重要視する。提出期限以降は一切受け付けない。【評価項目(評価の方法)】:出席点ー40%、課題提出およびプレゼンテーションー30%、期末試験ー20%、日常点ー10%。対面授業とオンライン授業を並行する可能性がある。進捗状況により内容変更の可能性ある。		
実施 回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿 題・提出課題 等	重要用語・キ ーワード'(任意)
1	ガイダンス	科目の狙い、到達レベル、講義計画の説明、準備物の説明、評価方法ほか。	授業ルールの理解と新型コロナウイルス感染拡大による授業スケジュールに変更が生じる可能性があることを理解しておく。	傾聴力	次回より20ポケットのクリアファイルを各自用意しておくこと。		
2	グループワーク1	あえて「社会人基礎力」にふれず、4から5人のグループで比較的容易なテーマでグループワークを行う。	時間配分を最重要テーマとして、まとめあげる力を養う	主体性、働きかけ力、計画力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	グループワーク2	前回のテーマで、手法を問わないプレゼンテーションの実施。	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、柔軟性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
4	社会人基礎力とは	経済産業省が提唱する「社会人基礎力」の紹介。	前回までの内容で、どのような場面で社会人基礎力が必要とされたかを理解する。	課題発見力、計画力	【授業運営方法】:レクチャー形式		
5	グループディスカッション1	就職試験でも利用されることが多い、グループディスカッションについて実践を通して学ぶ。	グループディスカッションを行う理由、役割、重要性を理解する。	状況把握力、規律性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
6	グループディスカッション2	グループディスカッションでまとめた意見を発表する。聞いているグループは必ず質問する。	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、発信力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
7	情報をまとめる力1	最新の時事問題のニュース記事を取り上げ、簡潔に要約したレポートを作成する。	レポートを要約するポイント、ビジネス文書作成の基本ができる。キーワードの重要性を知る。	ストレスコントロール力	【授業運営方法】:レクチャー形式		
8	スピーチトレーニング1	与えられた素材を基に、短時間でスピーチ内容を決める。	プレゼンテーションの基本として、人前で話すことは社会人として基本的な動作であることを知る。	実行力、主体性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
9	スピーチトレーニング2	各自、スピーチに際しツールを用意し、内容に説特性を持たせる。	他人の良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		

23前期_英語系1年_社会人基礎力&プレゼン表現 I (b)_斉藤隆史_実務家.xlsx

10	コンプライアンス1	個人情報保護、コンプライアンスの重要性とは何か。	クイズ形式のオリジナルプリントで個人情報保護、コンプライアンスについて理解する。	主体性、課題発見力	【授業運営方法】:レクチャー形式		
11	コンプライアンス2	興味のある企業のコンプライアンスを調べる。	就職活動における企業研究にもつながり、将来の進路についても考えを深めることができる。	規律性、実行力	【授業運営方法】:レクチャー形式	レポート提出	
12	情報をまとめる力2	最新の時事問題のニュース記事を取り上げ、簡潔に要約したレポートを作成する。	第7講で実施した経験をもとに、ビジネス文書作成の完成度を高める。キーワードの重要性を知る。	ストレスコントロール力	【授業運営方法】:レクチャー形式		
13	グループワーク3	身近な商品を取り上げ、実物を用意してプレゼンテーションの実践を行う。	前回の反省を生かし、社会人基礎力を理解しながら準備することができる。	働きかけ力、創造力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
14	グループワーク4	同上	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	発信力、傾聴力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
15	期末試験、まとめ	社会人基礎力の成長度を測る簡単なテストの実施。	社会人基礎力をテーマに自己PR分を作成する。	主体性、課題発見力、発信力	【授業運営方法】:レクチャー形式		

23前期_英語系1年_TOEIC対策_L4_宮村秀美_実務家.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
TOEICテストとは Test of English for International Communicationの略称で、英語でのコミュニケーション能力を幅広く評価するテストである。本科目では、このテストの対策をテキストを使用し、7つで構成される各パートを熟知し、より高い点数を目指す。	ILLUMINATING THE PATH TO THE TOEIC L&Rおよびプリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を中心にTOEICテストの特徴を学び学習法を習得する。単語表を利用してTOEICに必要なボキャブラリーを増強する。当授業では文法項目別に、各パートを学習できるようにする。様々な場面についての基礎を学び表現が実用レベルで使えるようにする。また、リスニングについてはまんべんなく実用レベルで活用できるようにする。	【専門知識スキル】:TOEICのノウハウを知ることができる。リスニング形式が熟知できる。反復練習をして会話に応用することができる。ボキャブラリーを使った作文ができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力などを身につける。アクティブラーニングを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料の配布は授業内とする。課題の提出は期限内とする。【評価の観点】:各パートの特徴が把握できているか。・毎授業真剣に取り組みができているか。・理解度が上がっているか。【その他】:3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点ー30%、課題ー30%、検定受験(期末テストの代わり)ー40% なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	授業の進め方の説明30分、注意事項、TOEIC Testの内容説明	Unit 1 Traveling Part1 Part 5	写真問題の攻略法	旅行	【授業運営方法】:教科書は学生の理解度を確認しながら進める。リスニングについてはCDで行う。小テストで理解度チェックができるようにする。		
2	旅行	Unit 1 Part 2 Part 7	自動詞と他動詞の違いを認識する	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	ボキャブラリーチェック	
3	日常生活と買い物	Unit 2 Part 1 Part 5	呼応を理解する	〃	〃		
4	〃	Unit 2 Part 3 Part 7	設問を先読みする		〃	ボキャブラリーチェック	
5	レストランにて	Unit 3 Part 1 Part 5	メッセージの目的を聞き取る	考える力	〃		
6	〃	Unit 3 Part 4 Part 7	スキヤニングを身に付ける	深掘りする力	〃	ボキャブラリーチェック	
7	求職	Unit 4 Part1 Part 5	修飾を理解する	課題を発見する力	〃		

23前期_英語系1年_TOEIC対策_L4_宮村秀美_実務家.xlsx

8	〃	Unit 4 Part 2 Part 7	ダブルパッセージを攻略する	状況を判断する力	〃	ボキャブラリー チェック	
9	オフィスで 1	Unit 5 Part 1 Part 5	オフィスでの頻出表現をおさえる	状況に適応する力	〃		
10	〃	Unit 5 Part 3 Part 7	空所の前後のヒントを探す	書いてまとめる力	〃	ボキャブラリー チェック	
11	オフィスで 2	Unit 6 Part 1 Part 5	名詞の可算、不可算名詞の区別	疑問を持って調べる力	〃		
12	〃	Unit 6 Part 4 Part 7	状況を読み取る	整理する力	〃	ボキャブラリー チェック	
13	Review Test	Part 1 2 Part 5 6	各ユニットの重要項目確認	復習する力	〃		
14	〃	Part 3 4 Part 7	不得意分野の強化	考える力	〃	ボキャブラリー チェック	
15	まとめと復習	実践問題に挑戦	TOEIC Test の全体の流れを掴む	まとめる力	〃		

23前期_英語系2年_TOEIC対策_L4_宮村秀美_実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	TOEICテストとは Test of English for International Communicationの略称で、英語でのコミュニケーション能力を幅広く評価するテストである。1年生で学んだ TOEIC対策のことを踏まえさらに、本科目では、このテストの対策をテキストを使用し、7つで構成される各パートを熟知し、より高い点数を目指す。	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470およびプリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を中心にTOEICテストの特徴を学び学習法を習得する。単語表を利用してTOEICに必要なボキャブラリーを増強する。当授業では文法項目別に、各パートを学習できるようにする。様々な場面についての基礎を学び表現が実用レベルで使えるようにする。また、リスニングについてはまんべんなく実用レベルで活用できるようにする。	【専門知識スキル】:TOEICのノウハウを知ることができる。リスニング形式が熟知できる。反復練習をして会話に応用することができる。ボキャブラリーを使った作文ができる。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力などを身につける。アクティブラーニングを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料の配布は授業内とする。課題の提出は期限内とする。【評価の観点】:各パートの特徴が把握できているか。・毎授業真剣に取り組みができているか。・理解度が上がっているか。【その他】:3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点ー30%、課題ー30%、検定受験(期末テストの代わり)ー40% なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容の変更の可能性があります		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	授業の進め方の説明30分、注意事項、TOEIC TESTの内容確認、及びPre-Test	Pre-Testを行い各パートの内容確認	自分の不得意パートを認識できるようになる	疑問を持って調べる力	【授業運営方法】:講義後、個別に演習問題に取り組む。ペアまたはグループで音読や学び合いを行う。		
2	Unit 1 予定	動詞+5文型	写真問の理解ができるようになる。文法問題のパターンが理解できるようになる。	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	〃	自動詞、他動詞及びThereの構文	予定表現が出来るようになる	整理する力	〃		
4	Unit 2 数量を訪ねる	名詞の種類	数えられる名詞と数えられない名詞の区別を学べる	推測する力	〃		
5	〃	数量を尋ねる基本表現	数量を尋ねることができる	復習力	〃		
6	Unit 3 命令依頼	命令形の作り方	様々な命令形を区別することができる	深掘りする力	〃		
7	〃	形容詞と副詞	2つの品詞の区別の仕方を学ぶ	疑問を持って調べる力	〃		

23前期_英語系2年_TOEIC対策_L4_宮村秀美_実務家.xlsx

8	Unit 4 広告宣伝	広告・宣伝に関する語句・表現を覚える	広告の特徴を学ぶ	状況を判断する力	〃		
9	〃	フレーズリーディング	スキニングの仕方を学ぶ	状況に適応する力	〃		
10	Unit 5 時間を尋ねる	時間を尋ねる表現	様々な時間表現を学ぶ	整理する力	〃		
11	〃	動名詞	動名詞を伴う動詞を知る	結果を予測する力	〃		
12	Unit 6 場所を尋ねる	場所を尋ねる表現	場所によって使われ方の違う前置詞を区別する	書いてまとめる力	〃		
13	〃	動名詞・不定詞を学ぶ	スキニング力を増強できる	書いてまとめる力	〃		
14	復讐テスト	Unit 1 ～6の復習	自分の弱点を見つける	考える力	〃		
15	TOEIC標準問題	リスニング及びリーディング問題を解く	標準問題にチャレンジする	挑戦すること	〃		

22後期_英語系1年_社会人基礎力&プレゼン表現ⅡEF1_斉藤隆史_実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	経済産業省が提唱する「社会人基礎力」。社員教育や研修制度等にも導入されている。社会人基礎力の内容を理解し、社会人として必要な基本スキルを自主的に付けることを目的とする。また、この力を身に付けることは就職活動にも結び付くことを理解する。	プリント教材等	《実務経験のある教員による授業科目》旅行業界での勤務経験のある教員が担当。各種演習を通じて社会人基礎力(コミュニケーション、チームワーク、アイデア発想、情報の集約・整理、データ分析、プレゼンテーションの仕方等)を身に付ける。本講座では、アクティブラーニングを通じ、学生自身が自ら考え、主体的に活動することが要求される。	【専門知識スキル】:基本的なプレゼンテーションができる。チームワークの必要性を理解することができる。 【社会人基礎力】:全項目に渡って、社会で即戦力としての評価につながるような学習を実習・実戦形式で行う。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料保管のためのA4サイズのクリアファイル(20ポケット)を持参すること。【評価の観点】:課題を課す場合、提出期限を最重要視する。提出期限以降は一切受け付けない。【評価項目(評価の方法)】:出席点ー40%、課題提出およびプレゼンテーションー40%、日常点ー20%。対面授業とオンライン授業を並行する可能性がある。進捗状況により内容変更の可能性が有る。		
実施 回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿 題・提出課題 等	重要用語・キ ーワード'(任意)
1	ガイダンス	科目の狙い、到達レベル、講義計画の説明、準備物の説明、評価方法ほか。	授業ルールの理解と新型コロナウイルス感染拡大による授業スケジュールに変更が生じる可能性があることを理解しておく。	傾聴力	次回より20ポケットのクリアファイルを各自用意しておくこと。		
2	グループワーク1	あえて「社会人基礎力」にふれず、4～5人のグループで比較的容易なテーマでグループワークを行う。	時間配分を最重要テーマとして、まとめあげる力を養う	主体性、働きかけ力、計画力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	グループワーク2	前回のテーマで、手法を問わないプレゼンテーションの実施。	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、柔軟性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
4	社会人としての一般常識1	基礎的な日本地理の習得	社会人として当然知っておかなければならない日本地理の基礎知識を習得。	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:レクチャー形式		
5	グループディスカッション1	就職試験でも利用されることが多い、グループディスカッションについて実践を通して学ぶ。	グループディスカッションを行う理由、役割、重要性を理解する。	状況把握力、規律性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
6	グループディスカッション2	グループディスカッションでまとめた意見を発表する。聞いているグループは必ず質問する。	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、発信力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
7	社会人としての一般常識2	基礎的な海外地理の習得	社会人として当然知っておかなければならない海外地理の基礎知識を習得。	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:レクチャー形式		
8	スピーチトレーニング1	与えられた素材を基に、短時間でスピーチ内容を決める。	プレゼンテーションの基本として、人前で話すことは社会人として基本的な動作であることを知る。	実行力、主体性	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
9	スピーチトレーニング2	各自、スピーチに際しツールを用意し、内容に説特性を持たせる。	他人の良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次の発展につながることを理解する。	傾聴力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		

22後期_英語系1年_社会人基礎力&プレゼン表現Ⅱ EF1_斉藤隆史_実務家.xlsx

10	時事に関する知識1	ヒット商品から見る今年の動き	自分たちの世代以外で今年はどんなヒット商品、流行があったことを知り社会人としての知識の引き出しを増やす。	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:レクチャー形式		
11	グループワーク3	身近な商品を取り上げ、実物を用意してプレゼンテーションの実践を行う。	前回の反省を生かし、社会人基礎力を理解しながら準備することができる。	働きかけ力、創造力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
12	グループワーク4	同上	他グループの良いところを知り、振り返りシートを作成することで、次回の発展につながることを理解する。	発信力、傾聴力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
13	時事に関する知識2	新語流行語から見る今年の世相を探索。	自分たちの世代以外で今年はどんな言葉に注目されたかを知り社会人としての知識の引き出しを増やす。	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:レクチャー形式		
14	時事に関する知識3	十大ニュースから見る今年の世相を探索。	国内、海外の10大ニュースを振り返り、社会人としての知識を増やすとともに、就職試験にも必要であることを知る	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:レクチャー形式		
15	まとめ(調整)	社会人基礎力の成長度を測る簡単なテストの実施。	学校生活、アルバイト等で自分が成長できたか、客観的に見つめなおすことができる。	主体性、課題発見力、発信力	【授業運営方法】:レクチャー形式		

22後期_英語系1年_TOEIC対策_L4_山田啓子_実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	英語の総合的なコミュニケーション能力を判定する基準として、広く認知されてきたTOEICは、将来の仕事の上でも、自身の英語力に磨きをかける上でも、そのスコアは大きな影響を持つ場合が多い。テストで必要とされるビジネス知識を含め、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、出題形式に沿った実践的なトレーニングを行うことで、英語運用能力の向上を図る。1年次には主に各パートごとの対策に重点を置き、語いの強化と基礎文法力の強化を第1目標とする。	Preparation Series for the TOEIC Advanced 6th Ed.	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を用いて、TOEICテスト形式を理解したうえで、問題演習を行う。基本的なビジネスシーンでよく使われる英語表現の学習やグループワークによる問題演習を行った後、限られた時間内でTOEICの各パート問題を各自で素早く正確に解くことができるよう、毎回の授業でトレーニングを行っていく。	【専門知識スキル】:英文法、ビジネス英語会話や説明文のリスニング力、ビジネス文書読解力、語彙力 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】:授業では可能な限りPCを活用して、グループワークを行うため、PCを持参のこと。 教科書を忘れた場合は、必ず授業前にコピーを取り、受講に支障のない状態にすること。【評価の観点】:授業への出席、授業態度、グループワークへの積極性や達成度、授業中に行われる小テストの結果、かつTOEIC IPテストでの実績を総合的に加味する。【その他】:忘れ物や欠席や遅刻早退はその回数に応じて減点する。講義内容は事情に応じて変更あり。【評価項目(評価の方法)】:TOEICIPスコア40%、平常点(出席率、授業態度や課題達成率)30%、授業中に行う小テストや復習テストなど30% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) PRACTICE TEST 1 リスニング演習 Part1 およびPart2	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (2)Part1 写真描写問題の演習 Part2 応答問題の演習	講義内容、TOEICの理解 各自のTOEIC到達目標点を設定できる写真描写問題および応答問題のポイントを理解できる	傾聴力、計画性、主体性	【授業運営方法】:講師が授業内容の説明を行う。その後は教科書を使用しながら、演習問題を行う。		
2	PRACTICE TEST 1 Reading part 5 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および5における解法のポイントを得たうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、規律性	【授業運営方法】:教科書を使用しながら、演習問題に数多く取り組む。可能な場面ではアクティブラーニングを採用し、グループもしくはペアでの学習を進める。		
3	PRACTICE TEST 1 Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを得たうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
4	PRACTICE TEST 1 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを得たうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
5	PRACTICE TEST 1 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを得たうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
6	PRACTICE TEST 1 Reading part 7	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート7における解法のポイントを得たうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		

22後期_英語系1年_TOEIC対策_L4_山田啓子_実務家.xlsx

7	PRACTICE TEST 2 Reading part 5 Listening part 1&2	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part1&2の問題演習	必要な語彙やパート1、2および5における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
8	PRACTICE TEST 2 Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
9	PRACTICE TEST 2 Reading part 7 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および7における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
10	PRACTICE TEST 2 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
11	PRACTICE TEST 2 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
12	PRACTICE TEST 3 Reading part 5 Listening part 1&2	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part1&2の問題演習	必要な語彙やパート1、2および5における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
13	PRACTICE TEST 3 Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
14	PRACTICE TEST 3 Reading part 7 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習 Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および7における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
15	これまでのまとめ(復習:実践問題) Reading part 7 Listening part 4	これまでに学んだ内容を実践問題を通して復習確認する	これまでの学習内容を最大限に活用して問題演習を行い、今後に向けた自分の課題を知ることができる	主体性、実行力、課題発見力、集中力	問題演習を中心に行う		

22後期_英語系2年_TOEIC対策_L2_野田あゆみ_実務家.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
2年次は更なるスコアアップを目指す。1年次に習得したビジネス知識や、出題形式への理解を含めて、更に、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、実践的形式で行う。特に、強化した語彙力と基礎文法力をもとに、時間をかけずに解くべき問題が素早く正確に解ける技術の強化を図る。また、限られた時間内で正確に解く意識を授業内でも高めるようにし、タイムマネジメント能力も養う。	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470、プリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》ホテル業界での勤務経験のある教員が担当。TOEICによく出る文法事項の確認、授業内で単語テストを行い、頻出単語を覚える。リスニング問題の先読みをし問題を解く。また限られた時間内で素早く正確に解くことができるよう、毎回の授業でトレーニングを行っていく。文法事項の定着のため、自分たちで問題の解説を試みる。(アクティブラーニング)	【専門知識スキル】:文法問題の解き方を覚え、またリスニングの聞き取るポイントを押さえ、時間内に素早く問題を解くことができる。400点以上獲得できる必要な語彙力、リスニング力、文法力、読解力が身につく。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】:積極的に授業に取り組む。【評価の観点】:・出席率、授業態度、グループワークへの積極的な取り組みを重視し、かつ単語テスト、TOEIC公開テストおよびJIPテストでの実績も加味する。【その他】:単語テストは、授業開始時のみ実施。遅刻者や欠席者への振替は行わず、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【評価項目(評価の方法)】:出席率ー20% 授業への取り組みー20% 単語テストー20% TOEICスコアー40% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) TOEICの基礎知識と攻略法の確認 (3)Unit 7 vocabulary	TOEICテストのパートごとの基礎知識と攻略法の確認。Unit 7 P72の vocabulary の暗記	TOEICテストの基礎知識と攻略法。Unit 7 に出てくる単語を覚える。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【授業運営方法】:テキストの問題を解き、英文の音読、会話練習やアクティブラーニングを行う。授業開始時に単語テストを実施。	授業時に提示	
2	Unit 7 確認一詞	単語テスト。付加疑問文に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に確認する表現とその応答表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	単語テスト	
3	〃	単語テスト。分詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る分詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
4	Unit 8 留守電ースキャンニング	単語テスト。留守電に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。留守電の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
5	〃	単語テスト。スキャンニングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキャンニングを練習し、ダブルパッセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
6	Unit 9 アドバイスー受動態	単語テスト。アドバイスを表す表現のリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。アドバイスを求めたり、与えたりする表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
7	〃	単語テスト。受動態に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る受動態の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	

22後期_英語系2年_TOEIC対策_L2_野田あゆみ_実務家.xlsx

8	Unit 10 誘いー比較	単語テスト。誘いの表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手を誘う時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
9	〃	単語テスト。比較に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る比較の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
10	Unit 11 申し出ー関係詞	単語テスト。何かを勧める際の表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に丁寧に申し出る時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
11	〃	単語テスト。関係詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る関係詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
12	Unit 12 講演者ースキミング	単語テスト。講演に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。講演時に使われる表現を覚え、内容の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
13	〃	単語テスト。スキミングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキミングを練習し、トリプルパッセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
14	Post Test Listening	Post Test Listening	これまでの学習の復習を兼ね、本試験と同様のミニ試験を解き、自信の学習成果を確かめ、課題を見つけることができる。	〃	〃	〃	
15	Post Test Reading	Post Test Reading	〃	〃	〃		